

今ある授業と行事をつなぐ月別ロードマップ

高校の総合的な探究の時間を中心にした支援例 | 令和9年度の年間計画を考える提案例 | 行事・時期は各校で調整

キャリア教育は、学校教育全体で社会的・職業的自立に向けた力を育てる教育です。探究もその学習の場として生かします。

月	学校の動きの例	今ある授業・活動で考える学びの例	育てたい生徒の姿の例	私が分担するコーディネート支援の例
4月	新学期・入学・面談等	オリエンテーションで関心と目標を確かめる。 教科・HR・探究の計画を共有する。	自分や仲間の関心・よさに気づき、 今年試したいことを考える。	学校の目標・計画と支援範囲を確認。 教材、役割表、前年度資料を整理する。
5月	中間考査・生徒総会等	今の関心から問いを挙げ、理由を考える。 教科の学びと関連する情報を探す。	関心の理由を言葉にし、 確かめたい問いを選ぶ。	問いづくり教材・協力者候補を準備。 学校と合意した時間に連絡調整する。
6月	体育行事・期末考査等	資料や外部の話から問いを見直す。 必要な調査や夏の活動の方向を考える。	自分の関心と社会の出来事を結び、 人の話から考えを見直す。	講師等との打合せ、受入先の候補調整。 学校のねらいと必要な配慮を共有する。
7月	面談・補習・夏休み前	調査計画をつくり、役割と方法を考える。 連絡の仕方や安全を事前に確認する。	見通しをもち、役割を分け、 困ったときに相談できる。	訪問等の連絡・事前学習案を準備。 日程、緊急連絡、活動条件を確認する。
8月	夏季休業・学校閉庁日等	実施校の計画に沿って調査等を行う。 見聞きしたことを既存の記録に残す。	経験と事実を記録し、 次に確かめることを残す。	合意した範囲で連絡窓口等を分担。 休業中の対応と校内で行う代替案を確認。
9月	文化祭・中間考査等	集めた情報を整理・分析する。 問いを見直し、中間発表を準備する。	情報を比べ、関心の変化や 次に調べることを確かめる。	整理・分析の教材と発表案を準備。 必要な協力者への依頼案を整理する。
10月	模試・検定・進路関係等	助言や対話で問いを深める。 根拠を示す発表資料をつくる。	助言を吟味し、仲間と協力して 考えや伝え方を改善する。	発表準備の助言、助言シート案を用意。 会場・備品・当日の分担を整理する。
11月	期末考査・修学旅行等	中間発表と既存授業内の振り返り。 助言から次の改善点を選ぶ。	自分のよさ・考えの変化を捉え、 次に試すことを言葉にする。	発表の運営を合意範囲で分担。 外部の助言を授業で使える形に整理する。
12月	考査・冬季休業・講習等	助言を基に修正し、次の取組を決める。 最終発表の計画を確認する。	学びたいことを選び直し、 次の活動の見通しをもつ。	次の教材・最終発表の準備を整理。 冬季の交通や実施条件を確認する。
1月	入試関係・時間割変更等	成果物を整え、発表練習を行う。 記録を見返し、工夫や課題を確かめる。	自分の得意なことや課題に気づき、 伝え方や取組を改善する。	発表練習への助言、連絡・備品準備。 ICTは学校が認めた範囲で使用する。
2月	学年末考査・入試関係等	最終発表と一年の振り返り。 協力者へのお礼や成果共有を考える。	一年の学びと自分の変化を捉え、 次の学習・生活で試すことを選ぶ。	発表運営、助言整理、成果共有を分担。 考査・入試業務と重ならない時期を確認。
3月	卒業・終業・年度末等	学習記録を精選し、次の学年へつなぐ。 今年の授業・活動を学校で振り返る。	今年の学びを次の学年の 生活や学習につなげる。	成果・課題・教材・協力先情報を整理。 学校の次年度計画や引継ぎを支援する。

読み方 今ある予定と活動を先に確認し、必要な月・支援だけを選びます。発表はこの例では11月・2月を想定。考査や休業を、先生の空き時間とみなさず調整します。

つなぎ方 教科・探究の記録を、既存の学級・HR活動での対話や意思決定へ。キャリア・パスポート等は学校の計画に沿って活用し、記録を精選します。

分担の前提 学校が方針・ねらい・指導・評価・実施を決定。私は必要な教材・外部調整・運営・記録整理を分担します。費用、手続、安全、個別配慮、情報共有は事前確認。

相談の入口「〇年・〇月の準備を相談したいです」の一文から。

初回30分無料。その後の設計・資料作成・実施支援は、範囲と費用を事前に確認し、お見積もりします。

吉田正之 | キャリア教育案内人 | 2026年10月13日更新 | A3横・1枚

参照：文部科学省「中学校・高等学校キャリア教育の手引き」（2023年3月）第2章・年間指導計画／月別支援と生徒の姿は吉田正之の提案です。

原資料：キャリア教育コーディネート_月別ロードマップ.xlsx（既存資料）を月別共有版に整理。キャリア・パスポートの扱いは文部科学省Q&Aも参照。

学校・先生向け相談フォーム

toi.manabi@gmail.com

